

## ブックチャンス事業

### 事業実施主体

- ・ 特定非営利活動法人らいぶらいぶ  
(本を通じて心豊かな生活を送りたいと願う人と図書館を結ぶ NPO 法人です。図書館利用の普及と読書推進のための活動を行っています)
- ・ 担当課：こども青少年課、南保健センター、図書館

### 事業概要

南保健センターを会場として実施する4か月児健診に合わせ、絵本の読み聞かせを行っています。1組の親子に対し1人のボランティアが、絵本を開く体験を通して心触れ合う楽しいひとときが持てるチャンスを作っています。

ボランティアを通じて、絵本を開く子どもとの楽しい体験は、子どもの健やかな成長と子育て支援につながります。心の安らかな時間の共有や育児の不安を取り除き、親子の幸せなひとときを提供するための、ひとつのきっかけになっています。



### 取り組み状況

ブックチャンスは、毎月3回、南保健センターを会場として実施する4か月児健診と同時に開催されています。絵本を紹介し、記録を残すための「メモリーノート」という冊子を配布しています。

## ブックチャンスの活動の様子

1組の親子につき1人のボランティアが絵本の読み聞かせを行います。1対1なので、ボランティアの方が子どもに合わせた絵本を紹介し、子どもの反応を見ながら読み聞かせを行うことができます。ボランティアの方は言葉で語りかけるだけでなく、時には身振り手振りで読み聞かせを行っていました。ボランティアの方の優しい口調に、子どもだけではなく保護者も絵本に夢中になっていました。この取り組みは、絵本を楽しむだけでなく、保護者が子どもと一緒に時間を共有するための良いきっかけにもなっています。

ブックチャンスに参加することで、地域に子育てを応援してくれる人があることを知ることができるだけでなく、赤ちゃんが参加できる活動やそのような場所があることに気付くことができます。それは、保護者の子育ての安心感につながり、自分が暮らしている地域に愛着を持つきっかけにもなります。



## 可愛い絵本が充実

ブックチャンスでは、らいぶのメンバーが司書としての経験を通して選んだ絵本20冊を10セット用意しています。

絵本は、角が丸くなっていたり、赤ちゃんがなめでも大丈夫なインクを使用していますが、衛生上ブッカーをかけています。色のはっきりとしており、「もの」がすっきりと描かれ、心地よい言葉のリズムがある絵本は、子どもや保護者にも親しみやすくなっています。





絵本の読み聞かせの前に...

絵本の読み聞かせの前には子どもだけではなく保護者もリラックスして絵本を楽しんでもらえるように、まずは子どもの話から入ります。「1人目ですか？それとも2人目ですか？」など子どもに関連した会話をしていくことで、落ち着いて絵本を楽しんでもらう環境を整えていきます。

### 子どもに合わせた絵本選び

読み聞かせをする絵本は、ボランティアの方が保護者の話を聞きながら、子どもに合わせたものを選びます。「絵本はまだ読んであげたことなくて...」、「この本は上の子が持っているから他の絵本の方がいいかな...」などのお話を伺い、1組1組に合わせた絵本を紹介します。



子どもも保護者も絵本に興味津々

子どもは絵本の絵をだけでなく、ボランティアさんの語り口調や身振り手振りを見ながら、絵本を楽しんでいるようでした。また、「絵本は子どもが楽しむためのもの...」と思われがちですが、ここでは子どもと一緒に保護者もボランティアさんの読み聞かせに耳を傾けていました。

絵本を見て楽しそうな子どもの様子を見て、保護者も癒され、幸せなひとときを感じることができます。

## 保護者の方に参加した感想を伺いました！

「先月絵本を読んであげた時は全然反応しなかったんです。でも今日ボランティアの方に絵本を読んでもらい、子どもがよく笑ってくれたのでびっくりしました。絵本の読み方が違うだけで、子どもの反応はこんなに違うのですね。私もボランティアさんを見習って、絵本の読み方を勉強しようと思います。」



「最初は4か月の子どもが絵本を分かるのかと疑問に思っていました。しかし今回ボランティアの方に絵本を読んでもらい楽しそうだったので、これから家でも読み聞かせを行いたいと思います。まずは、子どもの興味がありそうな絵本から読み聞かせをしたいです。この取り組みは絵本を活用するための、良いきっかけづくりになると思います。」

## ボランティアの方にインタビューを行いました！

Q1：ボランティアを始めようと思ったきっかけは何ですか？

A：元々子どもと絵本が好きだったので、この活動に興味を持ちました。

Q2.活動を行ううえでの工夫はありますか？

A. すぐに絵本の読み聞かせから入るのではなく、まずはお子さんの話から入って、保護者の方の緊張やぎこちなさを取り除くように努めています。そして保護者の方が打ち解けてきたらお子さんに合った絵本を選び、読み聞かせに入ります。また健診に来たお子さんが1人目か2人目以上によって対応を変えます。例えば、上のお子さんがいらっしゃる場合は既に持っている絵本を伺い、持っていないような絵本を選んだりすることで、多くの絵本と出会えるようにしています。せっかくの機会なので、上のお子さんのための絵本も薦めたりしています。

また、健診が終わった後、保護者の方にほっとしてもらえそうな空間づくりを心がけています。絵本の楽しさを伝えるだけでなく、この体験を通して子育ての不安やストレスを少しでも解消してもらえるといいですね。



Q3.活動をしていて嬉しい瞬間はありますか？

A. 絵本の楽しさが伝わった時です。絵本を読み聞かせた後、保護者の方に「帰りに早速図書館によって絵本を借ります。」と言ってもらえると嬉しいです。

